科目名	資格対策講座２							年度	2026
英語科目名	Qualification Exam Preparation Course 2							学期	後期
学科・学年	ＡＩシステム科　１年次	必／選	選P	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	妹尾 彩子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		研修講師		

【科目の目的】

ITパスポート試験合格を目指しAIシステム開発に必要な基礎知識と用語を習得します生成AI時代に対応する人材育成の土台を築きます

【科目の概要】

ITパスポートの試験範囲に沿って情報システムやネットワークセキュリティ等の基礎を学習しますオンデマンド教材と演習を通して理解を深めます

【到達目標】

ITパスポートの合格に必要な情報システムの基礎知識やデジタル変革を推進する上での概念を習得し次世代AIエンジニアとしての基礎力を養えます

【授業の注意点】

ITパスポート試験の合格を目指しますオンデマンド講座の積極的な活用と計画的な学習進捗管理を強く推奨します自律的な学習が不可欠です

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	ビジネス戦略の基本要素を説明できる	ビジネスモデルの構成を説明できる	変革マネジメントの概要を説明できる	ビジネスモデルの要素を識別できる	ビジネス用語を一部説明できる
到達目標 B	データ活用の戦略を提案できる	データ分析の基本概念を説明できる	機械学習の基本を説明できる	データ収集の重要性を理解できる	データ関連用語を一部説明できる
到達目標 C	ソフトウェア設計原則を適用できる	チーム開発のプロセスを説明できる	プログラミングの基礎を説明できる	コンピュータの構造を理解できる	開発用語を一部説明できる
到達目標 D	セキュリティ対策を計画できる	セキュリティリスクを評価できる	情報セキュリティの概念を説明できる	サイバー攻撃の種類を識別できる	セキュリティ用語を一部説明できる
到達目標 E	論理的思考で問題解決できる	チームで協働する姿勢を示せる	批判的思考の概念を説明できる	コミュニケーションの重要性を理解	基本的な協調性を示せる

【教科書】

配布資料または指定教科書

【参考資料】

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）デジタルスキル標準（DX推進スキル標準）

【成績の評価方法・評価基準】

ITパスポート試験の合格を目指し理解度確認のための小テストや演習への取り組み状況から総合的に評価します主体的学習の姿勢も評価対象です

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	資格対策講座２	年度	2026
英語表記	Qualification Exam Preparation Course 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ITパスポートとDX人材	試験概要とDX人材を理解	1	ITパスポート	試験範囲全体を把握できる	1	
			2	DXと人材像	AIシステム科の方向性を理解		
			3	生成AI基礎	生成AIの役割を説明できる		
2	ビジネス戦略と経営管理	経営戦略の基礎を学ぶ	1	ビジネス戦略	戦略策定の要素を説明できる	1	
			2	プロダクト管理	プロダクトの価値を説明できる		
			3	変革管理	組織変革の重要性を理解		
3	企業活動と法務	企業活動の法的側面を学ぶ	1	知的財産権	権利保護の知識を習得する	1	
			2	コンプライアンス	法令遵守を説明できる		
			3	システムズ工学	システム全体像を理解できる		
4	プロジェクトとサービス	プロジェクト管理の基礎を学ぶ	1	プロジェクト管理	計画立案の基本を理解する	1	
			2	品質管理	品質管理の原則を理解する		
			3	サービス管理	ITILの概念を説明できる		
5	システム開発と運用	開発と運用の流れを学ぶ	1	開発プロセス	開発手順を説明できる	1	
			2	システムテスト	テストの目的を理解する		
			3	システム運用	運用保守の重要性を理解		
6	ハードウェアとNW基礎	コンピュータ基礎を学ぶ	1	コンピュータ構成	基本構成を説明できる	1	
			2	ネットワーク技術	通信原理を理解できる		
			3	IoT基礎	IoTの仕組みを説明できる		
7	データベースとデータ	データベース基礎を学ぶ	1	データベース	データベースの役割を理解	1	
			2	SQL基礎	SQLの基本操作を理解する		
			3	データ構造	データ構造の種類を説明できる		
8	プログラムとアルゴ	プログラミング基礎を学ぶ	1	アルゴリズム	基本的な考え方を理解する	1	
			2	プログラミング	コードの読み方を理解できる		
			3	ソフトウェア開発	開発ライフサイクルを理解		
9	情報セキュリティ対策	セキュリティ基礎を学ぶ	1	セキュリティ脅威	攻撃手法を説明できる	1	
			2	セキュリティ対策	対策技術の基本を理解		
			3	プライバシー保護	個人情報保護を理解できる		
10	ITパスポート模擬試験	試験対策で知識を定着	1	模擬試験	実践的な問題に対応できる	1	
			2	弱点克服	苦手分野を特定し改善		
			3	復習と総まとめ	全体の知識を整理できる		
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等